



※撮影時のみマスクを外しています。

病院のお仕事発見

臨床工学技士編

機械の先にいる

「人」への思いやりが重要

さまざまな医療機器の操作や保守・管理を担う臨床工学技士。人工呼吸器や人工透析装置といった生命維持に関わる医療機器を扱う場面も多く、現代の医療現場になくてはならない存在です。

車や家電が年々進化すると同時に、医療機器の種類はテクノロジーの進歩とともに増加。機能も複雑化し、より高度な治療を可能にしています。臨床工学技士は、最先端かつ高性能の医療機器を患者さんのために有効に使えるよう、日々のメンテナンスを欠かしません。また、医療機器を実際に使用することが多い看護師

医療・技術の進歩に合わせて
高度に発達する医療機器を使いこなし、
患者さんの治療をサポートします。

に適切な使用方法をレクチャーするのも重要な業務です。

「私たちが忘れてはいけないのは、医療機器を通した先に患者さんがいるということです。」と話すのは、長岡中央総合病院の島健二臨床工学技師長。「我々の仕事は機械さえ管理できれば良いのではなく、機械を通して患者さんに思いやりを持って触れ合い、有効な治療によって患者さんの役に立つ。そこまで踏み込む姿勢が重要だと思います。」

患者さんと直接接する機会が医師や看護師、臨床検査技師などと比べて多くないものの、現代医療に欠かせない縁の下の力持ち。医療の進歩に伴いニーズが高まる臨床工学技士に、ぜひ注目してみてください。

臨床工学技士の業務

呼吸治療業務

肺の機能が低下した患者さんに装着する人工呼吸器について、安全に使用されているか確認します。

補助循環業務

心臓のポンプ機能を一時的に補助する装置の運転操作、保守・管理を行います。

人工透析業務

体内の老廃物の排泄・代謝機能が低下した患者さんに使用する人工透析装置を操作します。

手術室業務

手術に使用する医療機器の事前点検や操作を行い、安全かつ円滑な手術をサポートします。

集中治療業務

集中治療室で人工呼吸器や持続的血液浄化装置などの生命維持管理装置を操作・管理をします。

心血管カテーテル業務

心臓病の診断に重要なカテーテル検査に際し、一連の検査の記録や医療装置の操作を担当します。

ペースメーカー/ICD業務

ペースメーカーやICD(植込み型除細動器)を体に入れる手術の際、機器の管理や操作をします。

医療機器管理業務

病院内の医療機器が安全・適切・効率的に使用できるよう一括管理し、保守・点検をします。



臨床工学技士とは

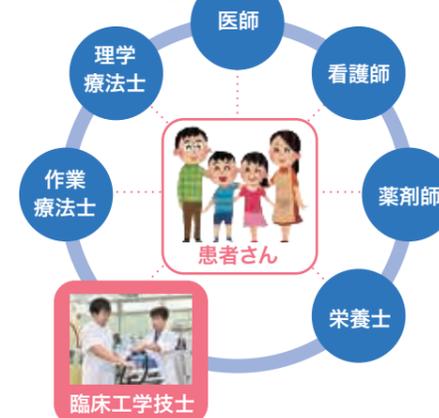
現代の高度な医療に欠かせない医療機器のスペシャリスト。その歴史は比較的新しく、1987年に法制化され臨床工学技士の国家資格が制定されました。病院内の医療機器を一括管理することで安全を確保し、コスト抑制にもつなげています。

チーム医療における役割

臨床工学技士はチーム医療の一員として、医師の指示の下に生命維持管理装置の保守・点検と操作を行い、患者さんの治療をサポートしています。看護師も医療機器を操作する機会が多いため、適切な使用方法をレクチャーします。



■透析業務の場合



SDGsに関連する取り組みとしてロゴマークを表記しております。

インタビュー

私は、臨床工学技士の仕事が好きです！



幼い頃から病院にかかることが多く、医療系の仕事を探そうちに臨床工学技士を知りました。世の中で透析患者さんが増え、ニーズが高まっていると知ったことも、この職種をめざした理由です。JA新潟厚生連は県内各地に病院があります。一つの病院で知識を深めるのもいいけれど、私はいろいろな病院で患者さんに出会ってみたいです。まずは透析の基礎を身に付け、特殊な治療もできるよう経験を重ねていきたいと思っています。

今年4月に入職し、人工透析業務を担当しています。実際に働いてみると、学生時代の実習では見えなかった大変さを感じます。けれど教育係の先輩が常にそばにいてくださるので、分からないことを聞いたり、患者さんが体調を崩した時どう動くかなど、先輩の姿を間近で見て学んでいます。

世の中でニーズが高まる臨床工学技士を希望
いろいろな病院で経験重ね成長したい

長岡中央総合病院 臨床工学技士 長尾 風花 ナガオ フウカ



オペ室や内視鏡室、カテーテル室で医療機器の操作や管理を担当しています。臨床工学技士の仕事は多岐に渡り、同時にそれぞれの業務に専門性が求められます。業務ごとに仕事内容が異なる新鮮さがある一方で、自分が興味を持った専門分野を深掘りできるのも魅力です。プライベートでは3人目の子どもが生まれ、1カ月半の育児休業を取得しました。「こういう協力は大事。気兼ねなく休んで」と技師長が声をかけてくださり、安心して休みに入ることができました。妻と協力しながら育児や家事ができ、家族のために過ごせて良かったです。復帰の際も大きな不安はありませんでした。チームワークの良い職場なので、そのありがたさを改めて感じています。

安心して育児休業を取得
復帰後、チームワークの良さを改めて実感

長岡中央総合病院 臨床工学技士 樋口 大 ヒラキ マサル



新潟医療センター 臨床工学技士 西脇 直樹 ニシワキ ナオキ

病院や患者さんのプラスになる
臨床工学技士の存在をもっと知ってほしい

カテーテル室で補助循環業務を担当しています。カテーテル治療は、不整脈や心筋梗塞の患者さんの根治を目指す治療法。医師が患者さんを治す、そのチームに臨床工学技士として参加できるのはとても嬉しいことです。入職から10年以上、人工透析業務を担当していたので、仕事内容が大きく異なる循環器の業務に最初は不安もありました。しかし上司や先輩による教育体制が確立されていたおかげで、順調に仕事を覚えることができました。JA新潟厚生連では、病院によって臨床工学技士の業務内容も求められる役割もさまざまです。臨床工学技士の存在が病院や患者さんのプラスになっていると知ってもらえるよう、これからも真摯に仕事に取り組みたいです。

※撮影時のみマスクを外しています。

Pick up! 現代医療に欠かせない、様々な医療機器を扱う専門家「臨床工学技士」をもっと知ろう!

1日のスケジュール

透析業務担当
ヨシダ リナ
吉田 梨那



医療機器管理業務
スズキ ダイキ
鈴木 大貴



- 8:30 始業
ミーティング、透析回路プライミングの実施
- 9:15 外来の透析患者さん入室
穿刺業務、患者さんの体調や回路のチェック
- 10:15 入院の透析患者さん入室
穿刺業務、患者さんの体調や回路のチェック
- 11:00 臨床工学科ミーティング
情報共有、確認など
- 12:15 休憩
- 13:15 透析終了
めまいや低血圧がないかなど患者さんのケア
- 15:00 夜間透析の準備
回路プライミングの実施
- 16:00 準夜勤担当への引き継ぎ等
HCU患者さんの確認、物品の準備も実施
- 17:00 終業

- 8:30 始業
手術室の麻酔器の動作確認
- 9:30 点検業務
使用した輸液ポンプ、シリンジポンプなどの清拭と点検
- 11:00 臨床工学科ミーティング
情報共有、確認など
- 11:30 点検業務
病棟の人工呼吸器の動作確認
- 12:00 休憩
- 13:00 心臓カテーテル検査業務
検査に使用する物品出しや機械の操作
- 16:00 点検業務
定期点検が必要な医療機器の動作確認
- 17:00 終業

多彩な研修でキャリアアップできる!

厚生連臨床工学技士会が主体となり我々の業務に特化した研修会を年2回開催しています。また、医療機器のメンテナンス講習会なども行いコスト削減に努めています。病院単位でも院内研修システムが構築され幅広い医学的知識を習得することが出来ます。

院外で行われる学会、講習会や研修会へも積極的な参加が認められており実務経験を活かした資格取得に励んでいます。

専門臨床工学技士一覧

- 血液浄化専門臨床工学技士
- 心・血管カテーテル関連専門臨床工学技士
- 不整脈治療専門臨床工学技士
- 呼吸治療専門臨床工学技士

- 高気圧酸素治療専門臨床工学技士
- 手術関連専門臨床工学技士
- 内視鏡関連専門臨床工学技士

認定臨床工学技士一覧

- 認定医療機器管理臨床工学技士
- 認定血液浄化臨床工学技士

その他各学会・団体の認定資格一覧

- 透析技術認定士
- 3学会合同呼吸療法認定士
- 臨床ME専門認定士
- 消化器内視鏡技師
- 植込み型心臓デバイス認定士
- 心血管インターベンション技士
- 第1種ME検定
- 第2種ME検定

など一部省略

お知らせ

広報誌『支えに』は、今月号をもちまして一時休刊とさせていただきます。読者の皆様により良い情報をお届けできるよう、ただいま新企画を準備中です。より一層力を入れて取り組んでまいりますので、どうぞ楽しみにお待ちしておりますと幸いです。今後とも広報誌『支えに』をご愛読いただけますよう、お願い申し上げます。 JA新潟厚生連 総務部

テクノロジーとメデイカルの進歩を日々肌身で感じられる仕事。



長岡中央総合病院

臨床工学科 技師長

シマ ケンジ
島 健二

1991年に臨床工学技士免許を取得。1997年JA新潟厚生連入職、刈羽郡総合病院(現 柏崎総合医療センター)配属。2006年長岡中央総合病院、2011年新潟医療センター(主任臨床工学技士に就任)、2014年三条総合病院、2016年上越総合病院(臨床工学技師長に就任)と各病院で経験を積む。2022年より現職。

おだやかな人柄と優しい笑顔が印象的な臨床工学科のリーダー。臨床工学技士の仕事の魅力やチームの雰囲気について聞きました。

—臨床工学技士を目指したきっかけを教えてください。

もともと自動車やオートバイが好きで、中学の頃は「メカニックになるのかな」と思っていました。しかしあるきっかけで医療機器の仕事に興味を持ち専門学校へ。就職した当時はまだ国家資格ではなく、病院では「ME (Medical Engineer)さん」と呼ばれていました。その後、時代のニーズが高まり臨床工学技士は法制化。27歳で国家資格を取得し、厚生連に入りました。

—臨床工学技士の魅力は?

技術と医療、両方の進歩を日々肌身で感じられること。その進歩に合わせて私たちの仕事も増え、厚みを増していきます。技術の進歩は止まることはありません。今後新しい医療機器が

—現在は14名のチームを率いていますね。

若手からベテランまで年齢層のバランスの良いチームです。当院のような規模の大きな病院ほど、臨床工学技士の仕事は多岐に渡ります。ですから新人職員にぜひ来てほしいですね。若い時の仕事の経験は、40、50代の礎になります。厚生連のいろいろな病院を経験し、人間関係を築くことで仕事もやりやすくなると思いますよ。

—臨床工学技士に大事なことは?

チーム力です。一人ではできないこともチームならできます。そのため「お互い様」をキーワードに日々活動しています。

※撮影時のみマスクを外しています。